九州６４チームが熱戦！学童軟式野球大会

▲堂々と選手宣誓をした一の宮マリンズの井幸二郎くん

第１１回大阿蘇旗学童軟式野球大会が、８月２２～２４日、農村公園あぴか等で開催され、九州各地から６４チームが参加しました（主催一の宮マリンズ少年野球クラブ:鳴瀬裕治監督）。開会式はファイヤーステートによる生演奏で盛大に行われ、佐藤市長の力強い応援挨拶の後、上空にヘリコプターが現れ、ヘリから落とされたボールで試合がスタートしました。白熱した試合の結果、一の宮マリンズが見事３位に入賞しました。なお、３日間にわたる今大会で延べ３千人が宿泊され、市の活性化にもつながりました。

農業用ため池で自然の魅力再発見！

子どもたちに、森が育む、きれいな空気と豊かな農業用水を知ってもらおうと、水土里ネット阿蘇（阿蘇土地改良区）が８月１日、学習会を実施しました。学習する跡ヶ瀬ため池は、農業用水の水源として、平成２０年、県の事業で整備されたもので、普段は遊歩道のある公園として利用されています。参加したのは、内牧小など管内の小学生１３４人で、未来館での事前学習の後、跡ヶ瀬ため池で魚のつかみ取りや水質調査、カヌー体験をし自然を体感。最後は赤牛のバーベキューで農家の方々と交流しました。

総会に合わせ地域づくり講演

株式会社まちづくり阿蘇一の宮（通称ＴＭＯ　代表取締役長尾章氏ほか５６人）の総会が７月１７日行われ、総会後、日頃から地域づくりに携わる会員の更なる前進のため地域づくり講演会を実施しました。講師は熊本県立大学総合管理学部教授石橋敏郎氏で、「人を育てる、組織を育てる」と題し、地域をよくするには『人！』と訴えられました。

※ＴＭＯは、インフォメーションセンター及び駐車場運営、古代の里キャンプ村運営ほか、ボランティアガイド事業、あそ伝承文化村ふるさとおもしろ館伝承遊び、植栽緑化事業などを実施し地域活性化に取り組んでいます。

阿蘇市全体で青少年を健全に育てよう！

阿蘇市青少年健全育成市民会議（梅木康裕会長）総会が７月２０日開かれ、保護者や地域の方々、学校・行政関係者が参加しました。昨年度取り組んだ「子どもの生活リズム向上のための調査研究」についての報告や、今年度取り組む「みんなのおじさん、おばさん」運動などについて審議され、総会後は、熊本県警察本部少年課サポートセンター長　古庄隆幸氏による特別講演が行われました。県内・阿蘇管内の非行状況、非行に至る背景、心理などが説明され、参加者は未来のある子どもたちを健全に育てることの大切さを改めて認識しました。